

今号の表紙から

今号の表紙では、福島県の水稲新品種「天のつぶ」についてご紹介します。

皆様もご存知のように従来の「ひとめぼれ」や「コシヒカリ」は、食味は良いものの背丈が高いため、実りの秋になると倒伏しやすいという性質がありました。

そこで、県農業試験場（現農業総合センター）では、平成7年から耐倒伏性が強い良食味品種を目指し育成を開始。食味の良い「コシヒカリ」の流れを汲んでいる「奥羽357号」と、草丈の短い短稈系の「越南159号」を交配し、15年の歳月をかけて「天のつぶ」の品種開発を行いました。

平成23年度に現地実証ほを担当した農業者に感想を聞くと、「草丈が短いので台風が来ても倒伏しなかった」「粒張りも良く屑米が少なく、食味もとても良かった」と、大変良い反応が得られました。「天のつぶ」の栽培は、標高300m以上の水田には不向きではありませんが、穂もちにも強いので、環境にやさしい農業に向いています。

また、熟期も「ひとめぼれ」と「コシヒカリ」の中間のため、収穫期が重ならず効率の良い作業ができるようです。

このような、数年間にわたる適応性試験のデータもまとまり、平成24年度から本格的に普及推進が図られることとなりました。いわき市でもすでに多くの農家が、50haを超える水田で「天のつぶ」の栽培を予定しており、今後の普及拡大が期待されています。



「天のつぶ」の名前は、天に向かってまっすぐ伸びる稲の力強さと、天の恵みを受けて豊かに実るお米を表しているそうです。私たち農業者も、震災に挫けることなく「天のつぶ」のように力強く飛躍し、豊かな実りの秋を迎えることができるよう願っております。

（執筆 遠藤 靖委員）

※種子は、JAから購入することができます。栽培に関するお問い合わせは左記をご覧ください。

【問い合わせ先】

いわき農林事務所農業振興普及部
（24-6162）又は福島県水田畑作課
（024-521-7360）

農地流動化情報 vol.15

農業委員会では、農地の有効利用促進を図るため、売買・貸借等を希望する農地の情報を提供しています。

■ 売りたい

農地の所在地	地目	面積(a)
平下高久字川和久(1筆)	畑	6
平泉崎字岸前(4筆)	田	32
平馬目字火ノ宮(1筆)	田	5
平馬目字火ノ宮(1筆)	畑	5
平赤井字三の町(2筆)	田	31
三沢町弓張(4筆)	田	31
好間町榊小屋字迎(1筆)	田	1
好間町榊小屋字中平(3筆)	田	40
好間町榊小屋字小畑(3筆)	田	22
好間町榊小屋字小畑(1筆)	畑	1

■ 貸したい

農地の所在地	地目	面積(a)
平神谷作字細谷(1筆)	畑	47
平赤井字三の町(2筆)	田	31
平下高久字大和久(1筆)	畑	3
平下高久字水門(2筆)	畑	5
錦町雷(2筆)	田	20
山田町滑沢川原(2筆)	田	21
三沢町弓張(4筆)	田	31
好間町川中子字愛宕東(4筆)	畑	67

ご覧になって、この農地を『買いたい・借りたい』、『売りたい・貸したい』、あるいは、その他手続き等の詳細を知りたいという方は農業委員会事務局までお問い合わせください。

※今回掲載した農地以外にも売買・貸借等の意向がある方は、農業委員会事務局まで、ぜひご相談ください。

お問い合わせ：農業委員会事務局
☎22-7578

